

「第7回 Jichi Joy Café」開催結果報告

自治医科大学 医師・研究者キャリア支援センター
 第7回 Jichi Joy Café
 「働き方を考える. In The Jichi」

日時 **7月20日(金)** 12:30~14:00
 場所 **自治医科大学 新館 2F 会議室1**
 対象 **医師・研究者・学生** 初めて参加される方や男性のご参加も大歓迎です

病院長と話そう!!

☆ 講話: 『働き方と考え方の多様性 (ダイバーシティー)』
 自治医科大学附属病院
 病院長/消化器外科学教授 佐田 尚宏 先生

☆ ディスカッション: 自治医大! 男女ともに働きたい職場とは?
 フリートーク

◆ お申込は、7月10日(火)迄に下記メールアドレス又はお電話にて、医師・研究者キャリア支援センター
 担当 青木・長瀬までご連絡下さい。!! 心ばかりの献花をご用意しております!!

<主催> 自治医科大学医師・研究者キャリア支援センター
 <お問合せ> TEL: 0285-58-7561 内線: 2448 FAX: 0285-44-8627
 e-mail: career-support@jichi.ac.jp

平成 30 年 7 月 20 日(金)自治医科大学附属病院 新館 2F 会議室 1 に於いて、第 7 回 Jichi Joy Café を開催致しました。
 今回は、自治医科大学附属病院「究極のボス」佐田病院長をお招きいたしまして「働き方と考え方の多様性 (ダイバーシティー)」と題しましてご講話いただきました。

「医療界も innovation を考えなければならない時!!」

佐田先生ご自身の働き方に関する考え方、さらには外科医局において取組まれている働き方の多様性の事例を紹介してくださいました。その中で、自分のやりたいこと好きなことをやる事が、エネルギー源となり(快感原則)、モチベーション維持に大きく繋がるというお話が印象的でした。そして、自分のやりたいことをやるために、同じ職場で働く同僚のやりたいことにも協力することにつながり、「お互い様精神」が生まれること、更には個人がやりたいことを組織がサポートすることで、組織も共に成長出来るというお話は、本学で勤務する医師・研究者の励みになるメッセージでした。さらには、プライベートの時間で充電することの大切さも、素敵なお写真とともに紹介頂き、なかなか普段は聞けないお話が伺え、惜しみなく先生の考えをお話くださいました。佐田先生お忙しい中本当に、ありがとうございました。

講話の後のディスカッションにおいては、今回参加されました教員、医師、シニアレジデント、リサーチレジデント、大学院生、医学生と様々な立場からのご意見ご感想をいただきました。

当センターでは、皆様から頂きました貴重なご意見を集約できるよう活動を続けていきたいと思っております。

記

1.開催内容

♣ 30 年度テーマ: 「働き方を考える. In The Jichi」

2.当日タイムスケジュール

- | | | |
|--------------------------------|----------------------------|----------|
| ① あいさつ | センター長 小宮根 真弓 | 12:30~ |
| ② 参加者の声 (医師・研究者キャリア支援センター活動より) | アドバイザー 加藤 梨佳先生 | 12:35~ |
| ③ 講話 | | 12:45~ |
| | ♣ 「働き方と考え方の多様性 (ダイバーシティー)」 | |
| | 病院長/消化器外科学 | 佐田 尚宏 先生 |
| ④ ディスカッション (自己紹介・意見感想など) | | 13:15~ |
| ⑤ 集合写真撮影 | | 13:55~ |



◆ 長谷川常務にもご参加いただきました ◆



3. 講話

◆ 「働き方と考え方の多様性 (ダイバーシティ)」

病院長/消化器外科学 佐田 尚宏 先生

第7回 Jichi Joy Café 2018年7月20日

働き方と考え方の多様性

普通の人が普通に働ける病院

自治医科大学附属病院 病院長
佐田 尚宏

自治医科大学附属病院の2018年度

- ▶ 2017-2018年度の病院運営目標
 - 職員にやりがいのある快適な職場環境を整備する。
 - 安全で確実な医療を提供する。
 - 2025年問題に向けて、栃木を含めた北関東医療圏の高度急性期医療のリーダーとなる。
- ▶ 断らない親切的な医療
- ▶ 負担軽減と稼働目標の達成
- ▶ 病院としての一体感の醸成
- ▶ 10-20年後まで安心な病院運営(勤務形態・稼働)の確立

普通の人が普通に仕事ができる病院

どのような病院を目指すか

Jichi Medical University Hospital

普通の人?

⇔ 変な人?
⇔ 特別な人?

普通の人が普通に仕事ができる病院

Jichi Medical University Hospital

働き方と考え方の多様性を認めること

どのような病院を目指すか

Jichi Medical University Hospital

考え方の多様性?

働き方と考え方の多様性を認めること

Jichi Medical University Hospital

リベラル?

少数派を尊重すること

Jichi Medical University Hospital

組織?

規律と議論

1986年1月28日

Jichi Medical University Hospital

組織?

山一證券 (1997年)
雪印乳業・雪印食品 (2005年)
カネボウ (2007年)
JAL (2010年)

東芝、WV、神戸製鋼、スバル、...

Jichi Medical University Hospital

子曰
吾十有五而志于学
三十而立
四十而不惑
五十而知天命
六十而耳顺
七十而从心所欲不逾矩

消化器・一般外科の2000-2018年

主任教授挨拶
来たれ、未来の外科医達

Jichi Medical University Hospital

女性医師の活躍

標本 雅子
自治医科大学 平成9年卒業

Jichi Medical University Hospital

motivation

Jichi Medical University Hospital

考え方の多様性?

〇〇でなければいけない。
〇〇らしく。

Jichi Medical University Hospital

考え方の多様性?

快感原則
Medical First
組織と個人の関係
ワーク・ライフ・バランス

Jichi Medical University Hospital

以下に、今回のアンケートのご意見を掲載いたします。

《原文のとおり記載》



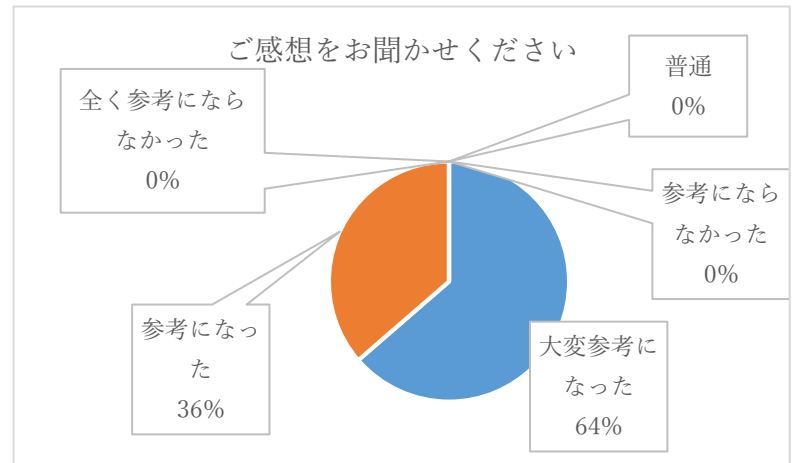
第7回 Jichi Joy Café アンケート



アンケート回答数 11/32 (回答率 34.3%)

1. 本日の内容についてご感想をお聞かせください。(該当箇所に○をお願いします)

- (1) 大変参考になった 7人
- (2) 参考になった 4人
- (3) 普通 0人
- (4) 参考にならなかった 0人
- (5) 全く参考にならなかった 0人



2. Q1 のお答えの理由をお聞かせください。

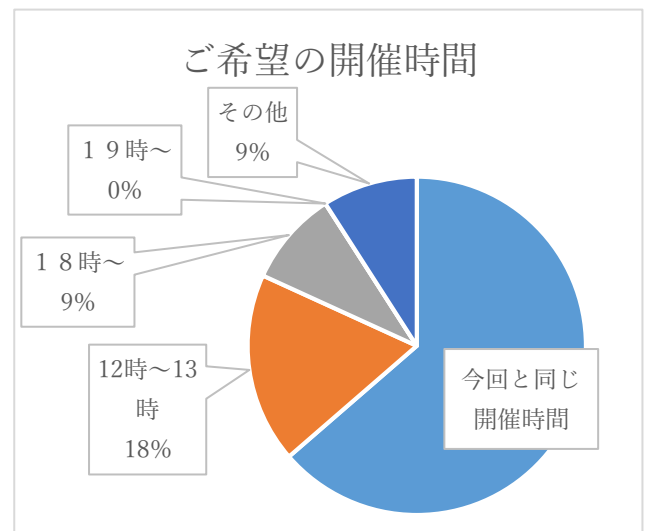
- ①ディスカッション後半からの参加となったため、よくわからない部分もありましたが、先生方のご意見についてはとても参考になりました。
- ②様々な立場の方の参加で、それぞれ悩みは多種多様。反対にどういう選択をするかも自分次第なんだと再確認しました。
- ③いろいろな部署の方々が参加していたのでそれぞれの医局の雰囲気があって働きやすかったら、困っていたり自分の努力ではどうしようもない環境がある事が知れた。佐田先生のお話が本当に分かりやすく心にしみいてくるお話だった。何より、各科の方々を知ることができて良かった。
- ④佐田先生のお話がとても共感でき、トップの方が柔軟でいらっしゃって嬉しいです。
- ⑤Apple Amazon といった企業→イノベーションといった話が伺えてよかった。医療は働き方が考えられていない職種のフロンティアの1つである。自分が現場に出る頃には理解ある先生が増えればと感じた。
- ⑥働き方がハードなイメージが強い外科トップの先生のお考え方が分かり、先入観だけで各科を見るより、実際に働く先生方と直接お話をすることが分かりました。
- ⑦自分自身が好きなことにチャレンジするだけでなく、そのような人を支援することも大切なのだなあと改めて思うことができた。
- ⑧モチベーションの持ち方、考え方の多様性について考えさせられた。
- ⑨Jichi Joy Café のいままでの変遷について知れた。毎回ごとに情報やアンケートをまとめて進化しているのだと思ったので大変参考になった。
院長のお話が、特に、自分が幸せでないと、他人を幸せにできないという主旨のお話に感動した。
- ⑩様々な立場の方のお話を聞くことができ、大変参考になりました。
- ⑪様々な職種の方々の話を聞いて良かったです。

3. 参加者の声や本日の病院長の講話を踏まえまして、今後の働き方についてどんな事柄（制度・医局内サポート・考え方等々）が一番重要だと感じましたか？

- ①講話を聞けなかったのが残念です。制度や職場の意識の改善は進んでいるように思います。
パートナーの長時間勤務により育児等の負担が一人に偏ってしまうような状況も一因だと思いました。
- ②昨年2月より講座アルバイトを今度3月まで更新しながら働き、4月よりラボランチンへ。賞与が出るものの、融通が効かなさに少々窮屈さを感じています。医師ではないし、地元だったわけでもなく、突然とびこんだ世界で、どう貢献しつつ家庭と両立していくか、何ができるか、何をしたいのか・・・まだまだ、迷いは尽きません。同じ仕事をしていても、今までの経緯や資格があつての従事であるということが認められるとありがたいです。ドクターをもっていない分際で求めすぎでしょうか？
- ③「自分の好きなことをする！」だから「人のしたいことも成せるよう協力する」ということができれば大変でも理解しあえる人が近くにいるというだけでがんばれると思った。少数の人にしわよせがいつてしまったら、大変だが、やはり基本はお互い様精神を大切にしていきたい。
- ④30時間制度の延長継続。
- ⑤制度を実際に利用して育休産休をとった諸先輩（男性含む）を知って「〇〇という例があった」という体験談を蓄積することが大切だと感じた。
- ⑥働き方の「多様性」で、仕事を続けられるか辞めるか大きく人生が変わることが分かりました。女性の先生方のお話が時に非常に深刻な内容もあつたので、自分はどんな困難に直面するのか、正直な所参加前よりも不安に思う気持ちが強くなりました。
- ⑦上司の理解。その理解のもと自分ががんばれることを継続すること。
- ⑧個人の希望とかをきちんと活かせる環境作り。
- ⑨「自分がやりたいと思うことをサポートしますよ」という姿勢。
- ⑩多様性を認める働き方制度。
- ⑪キャリアをつんでいくには、マンパワーが不可欠であることが、改めてわかった。両親の支援が受けられない場合は、やはり何かあきらめる（フルタイム勤務等）ことが多いのではないかと思った。
待機児童の問題は、特に困るので子どもを預けられる制度をしっかりと整備して欲しいと思った。

4. 次回の Jichi Joy café につきましてご希望の開催時間をお伺い致します。

- (1) 今回と同じ開催時間 7人
 - (2) 12時～13時 2人
 - (3) 18時～ 1人
 - (4) 19時～ 0人
 - (5) その他 1人
- (終業と延長保育終了の兼ね合いで
17:30～18:30頃)



5. 次回の Jichi Joy café のご要望をお聞かせください。(開催方法、講話テーマ 等)

- ①交流の時間がもう少しあるとうれしいです。臨床医師と研究部と分かれてもよいかと思えます。
- ②もう少しフリースーク（自己紹介以外の時間）があったらいいと思いました。いつもながら今回も楽しい時間を過ごせました。フリースークは机がない方が移動しやすくいいのではないかと思います。
- ③また授業が入らないときに参加したいです。
- ④大学院生がかかえる問題をお話ししていただく。
- ⑤お弁当おいしかったです。ごちそうさまでした。チョコレートやバウムクーヘン（ミニ）などあればうれしいと思いました。
- ⑥子育て（保育園など）支援制度の概要など情報収集の方法など。



アンケートご協力有難うございました♥

参加者集合写真



♪ 長谷川常務、病院長、山形教授、高木教授の貴重な「Jポーズ」のお写真です！！